

富塚君(高工田) 日本代表に

カヌー「香川の大会で活躍

カヌースプリントの大会「第29回府中湖カヌーレガッタ」が3月下旬に香川県坂出市であり、田辺カヌースプリントクラブ(CSC)の富塚晴之君(田辺工業高校3年)がジュニア種目の男子カヤックシングル(K-1)の2000mで優勝、500mで準優勝するなどし、日本代表として世界大会の出場が決まった。

大会は日本カヌー連盟など主催。2000m、5000m、10000mのコースで、男女別

別にシニア種目とジュニア種目も兼ねた。富塚君は2000mで40秒05を記録し、2位に0.27秒差で優勝した。5000mでは1分54秒134を記録して準優勝。10000mでは4分6秒406で3位だった。それぞれ金、銀、銅の三つのメダルを獲得して表彰台に上った。

速い選手を見て勉強したい」と話している。田辺CSCからは他に、ジュニア種目の女子カナディアンシングル2000mと、同5000mで小林実央さん(神島高3年)がいずれも準優勝だった。小林さんは「2000mではトップと0.1秒差で負けたので悔しい。次は1位を取れるように頑張る」と話

す。ジュニア種目の男子カナディアンペア10000mでは、神島高3年の松本佑哉君と野久保翔万君の組が3位に入賞した。シニア種目では、田辺CSCの指導者で神島高カヌー部顧問の阪本直也選手が男子カナディアンシングルの2000mで優勝した。



富塚晴之君(右から2人目)、小林実央さん(右端)、野久保翔万君(左端)、船本佑哉君

富塚君は高校に入ってからカヌーを始め、昨年の近畿高校新人大会で優勝、福井国体で6位に入賞するなど活躍している。この冬にトレーニングを重ね、初の日本代表入りを決めた。5月10～12日にニュージーランドであるアジアパシフィック大会に出場する。田辺工業高から日本代表選手が出たのは4人目。富塚君は「国体の時より力強くこぐことができた。日本代表入りを狙っていたのでうれしい。体力が課題なのでもっと練習する。世界大会では